

ISO9001:2015 認証機関



日本認知症ケア学会認定施設

岡山ひだまりの里病院 広報紙

第133号

2026年1月発行

発行責任者 藤田文博



ひだまり

岡山ひだまりの里病院 広報紙

第133号

2026年1月発行

発行責任者 藤田文博

明けまして
おめでとうございます

ご家族の皆様や、当院に関わっていただいている皆様に、新年のご挨拶を申し上げます。

現在、医療機関を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。昨年12月に行つた全体家族会では「約7割の医療機関が赤字経営と聞くが、ひだまり(当院)は大丈夫なのか」と、温かくも切実なご心配の声をいただきました。来年の診療報酬改定では、少し期待できるようなニュースもありますが、国民の医療費を年間4兆円削減するという政策自体を見直さない限り、医療現場の深刻な状況は解決しません。

この間の当院の新たな取り組みとして、アルツハイマー病の新しい治療薬である抗アミロイドβ抗体薬を採用し、6か月目以降の治療を開始しました。この薬剤は、アルツハイマー病の軽度認知障害と軽度の認知症の方を対象としており、最適使用推進ガイドラインを守つて使用することになっています。当院ではこの薬剤を安全かつ適正に使用するよう準備を進めてきました。昨年10月より使用できる体制を整え、12月より治療を開始しております。関心のある方、ご家族はお声をかけていただければと思います。

本年も、地域の皆様に寄り添い、安心をお届けできるよう職員一丸となって邁進してまいります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

岡山ひだまりの里病院
院長 藤田文博



<門松作り>

新年に向け、門松づくりを行いました。竹をしばりながら「どうやって結ぶんじゃったかなあ」「昔はどうしようとした」などと言いながら、みんなで力を合わせ立派な門松が完成しました。



<竹加工>

普段臥床が多い患者さんに「門松用の竹を切ってほしい」とお願いすると張り切って手伝ってくださいました。

正月準備



<お餅つき>

お正月恒例のお餅つきを行いました。お餅をつき終わった方から「満足じゃ」と笑顔があふれ、車いすの方も自然と立ち上がる姿が見られました。

粉まみれになりながらも昔を思い出し、みなさん上手に餅を丸めて見事な鏡もちを作られました。



<お飾り>

女性陣は縄をなうところから取り組まれ「昔はつくりよったなあ」と思い出しながら、手際よく丁寧に仕上げてくださいました。

学びと共に感、想いを分かち合うひととき 全体家族会を開催



冬の訪れを感じ始めた昨年の12月6日、岡山ふれあいセンターにて「全体家族会」を開催しました。当日は33名のご家族にご参加いただき、非常に温かな時間となりました。

前半は藤田院長より、「認知症の理解と対話」の講話です。加齢と認知症による物忘れの違い、軽度認知障害や認知症の進行過程、そして認知症の人との対話の特徴について、ご自身の体験を交えながら話されました。講和の中で、「面会時の際に会話に行き詰ったら『そろそろ散髪の時期だね』といった身体に関する身近な話題からはじめ『通っていた散髪屋さんやっているのかな』と、昔のことを聞いてみると大抵喜んで会話が続きますよ」と、昔話で会話が和む具体的なアドバイスがありました。



後半がはじまる前の休憩時間には、ご家族同士でお話されたり、作業療法での活動場面や作品を展示していましたのでご観覧されたりと、交流を深めていました。

後半は、現在入院中のご家族による介護体験をお話くださいました。在宅介護での葛藤や、当時の率直な想いをお話しいただき、「介護に正解はない。一生懸命考えて出した答えだからこそ、私たち家族にとって最善だと思えるようになった」という言葉が、参加者の心に強く響きました。終了時に書いてくださった感想文には「共感できることができ多かった」「自分を振り返る機会になった」などの声が寄せられ、同じ立場の方と想いを分かち合う大切さを改めて実感しました。

当院では今後も、ご家族も学び、想いを分かち合う「家族会」を運営してまいります。

相談員 日高 衛



作業療法の活動内容がわかる手作りパンフレットを作成し、各テーブルに展示しました。
普段の様子が伝わる、温かみのある作品になりました。<上記はそのサンプル2つ>



笑顔と活気の秋祭り

昨年の11月13日、当院の中庭にて「秋祭り」を開催いたしました。中庭には射的やおみくじ、太鼓、おみこしなど、手作り屋台が並び、準備から患者さんと共に行いました。看板作りや秋を題材にした習字など、皆さまの得意分野を活かしていただきました。

当日は少しの肌寒さ。そんな肌寒さよりも活気が勝ち、祭りの雰囲気に多くの笑い声があふれ、思い思いに楽しめました。リズム感ばっかりで太鼓を叩いたり、おみこしを担いだりと、「懐かしいなあ」「若い頃はおみこしを担いでいたんだよ」と、少年のような瞳でたくさんの思い出を語ってくださいました。

作業療法科では、日々のリハビリに加え、こうした行事活動を大切にしています。季節感や特別感を味わうだけでなく、昔ながらの習慣や文化を次世代へ繋ぐ場でもあります。今後も、患者さんと共に楽しみ、感動を分かち合えるような体験を届けてまいります。

作業療法士 藤井 郁充



Merry Christmas

～2階病棟にサンタクロース！～

サンタさんがいきなり登場。皆さんびっくりされましたがすぐに拍手と「サンタさん、こっちは、こっち」と童心に返ったような呼びかけがありました。写真撮影では、はにかみながらもポーズをとる方、緊張した表情をする方と様々。クリスマスらしく炭酸のジュースでカンパニー！ ひとときのクリスマス気分を味わいました。

作業療法士 中浜 暢子

クリスマスに向けて



クリスマスに向け、松ぼっくりでミニツリーを作成。患者さんと楽しく作り、かわいらしい作品ができました。



クリスマス会



迫りくる災害に備えて

—地震体験車で「震度6強」を体感—



皆さまは、日頃から災害への備えをされていますでしょうか。

当院では昨年の12月2日、岡山市南消防署のご協力のもと、地震体験車による揺れ体験を実施いたしました。これは、今後発生が危惧されている「南海トラフ地震」を想定し、職員一人ひとりの防災意識を高めることを目的としたものです。

当日は病院長をはじめ職員の他、当院を掃除してくださっている清掃業者の方も含め58名が参加。南海トラフ地震において岡山市で予測されている最大震度「6強」を体験しました。それは椅子に座り、手すりをしつかり掴んでいなければ姿勢を保てないほどの激しい揺れでした。実際に地震が発生した際、「自分の身を守りながら、患者さんや利用者さんをどう守るか」を改めて考える貴重な機会となりました。



非常食試食会

今年度、防災委員会ではこの地震体験のほかにも、岡山市風水害体験への参加や、看護教育委員会と共に非常食試食会などを実施してきました。今後も防災に関する学習や訓練に積極的に取り組み、皆さんに安心していただける病院づくりに努めてまいります。

防災委員会 足達 献一

お知らせ

「しゃべり場」のご案内

昨年11月より、当院では、林友の会と共に「しゃべり場」を立ち上げました。しゃべり場は入院外来問わず、お茶を飲みながらご家族同士が気軽に話し、悩みや思いを語り合える場です。ここで少し息抜きをしてみませんか。みなさまのご参加をお待ちしています。※参加費は無料です。

<次回のご案内>

2026年2月7日（土）10:00～11:30
岡山ひだまりの里病院 1階

<お問合せ>

林友の会（担当：頭師、中本）
電話 086-272-2957
岡山ひだまりの里病院（担当：加嶋）



ごあんない

岡山ひだまりの里病院

〒702-8012

岡山市南区北浦822-2

電話 086-267-2011 FAX 086-267-2013

ホームページ <https://hidamari.hayashi-dorin.or.jp/>



《外来》

診療日時：月曜～金曜 実施時間：月曜～土曜

9:00～12:30 9:30～15:30

*予約制です。まずは（日曜・年末年始はお休み）
お電話でご予約下さい

《認知症デイケア》

相談員、看護師、作業療法士による訪問看護を行っています。詳しくはお電話下さい。

無料低額診療事業を実施しています。

医療費でお困りの方はご相談ください。

入院中の差額ベッド料はいただいておりません。